



2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社リブセンス 上場取引所 東
 コード番号 6054 URL <https://www.livesense.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員 (氏名) 村上 太一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 桂 大介 (TEL) 03-6275-3330
 定時株主総会開催予定日 2023年3月30日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年3月31日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期の連結業績 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|-----------|-------|------|--------|---|------|---|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年12月期 | 4,757 | 13.8 | 284 | — | 438 | — | 537 | — |
| 2021年12月期 | 4,179 | 2.5 | △1,112 | — | △916 | — | △943 | — |

(注) 包括利益 2022年12月期 254百万円 (—%) 2021年12月期 △537百万円 (—%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|-----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年12月期 | 19.60 | — | 16.7 | 10.5 | 6.0 |
| 2021年12月期 | △34.43 | — | △28.0 | △22.7 | △26.6 |

(参考) 持分法投資損益 2022年12月期 -百万円 2021年12月期 -百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年12月期 | 4,468 | 3,356 | 75.1 | 122.42 |
| 2021年12月期 | 3,874 | 3,099 | 80.0 | 113.02 |

(参考) 自己資本 2022年12月期 3,356百万円 2021年12月期 3,099百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年12月期 | 731 | 128 | △4 | 3,560 |
| 2021年12月期 | △361 | 19 | 15 | 2,705 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率 (連結) |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|-----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2022年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2023年12月期 (予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | | — | |

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,000 | 26.1 | 350 | 23.2 | 500 | 14.1 | 460 | △14.4 | 16.78 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.13「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

| | | | |
|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 2022年12月期 | 28,160,000株 | 2021年12月期 | 28,160,000株 |
| 2022年12月期 | 740,320株 | 2021年12月期 | 740,320株 |
| 2022年12月期 | 27,419,680株 | 2021年12月期 | 27,417,900株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年12月期の個別業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-----------|-------|------|--------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年12月期 | 4,656 | 13.3 | 285 | — | 444 | — | 537 | — |
| 2021年12月期 | 4,109 | 2.1 | △1,116 | — | △916 | — | △943 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|-----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | 19.60 | — |
| 2021年12月期 | △34.43 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-----------|-------|------|-------|------|--------|------|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | % | 円 銭 | |
| 2022年12月期 | 4,417 | 76.0 | 3,356 | 76.0 | 122.42 | 76.0 | 122.42 | |
| 2021年12月期 | 3,817 | 81.2 | 3,099 | 81.2 | 113.02 | 81.2 | 113.02 | |

(参考) 自己資本 2022年12月期 3,356百万円 2021年12月期 3,099百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算説明会資料の入手方法

当社グループは、2023年2月17日にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料につきましては、当決算短信の補足資料として開示しております。また、当日の様子は、開催後準備ができ次第当社ウェブサイトにて動画配信する予定です。

決算説明会資料等の掲載ページ：<https://www.livesense.co.jp/ir/>

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| 連結損益計算書 | 8 |
| 連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (会計方針の変更) | 13 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループでは、求人情報メディアをはじめとする複数のインターネットメディアを運営しております。当連結会計年度においては「コーポレートビジョン『あたりまえを、発明しよう。』」追求に向け、持続的成長に向けた既存事業の収益力強化と、新規事業の基盤確立」をテーマとして事業を推進いたしました。

当連結会計年度においては、求人ニーズの上昇に加え、既存事業において顧客への拡販を積極的に推進したこと等により、売上高は4,757,968千円（前期比13.8%増）と増収になりました。また、利益面においては、既存事業が売上高の増加に伴い増益となったことに加え、不採算事業の撤退や固定費削減等の取り組みにより、営業利益は284,005千円（前期は1,112,384千円の営業損失）と、期初の計画より前倒して黒字転換を実現いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益は、税効果会計上の繰延税金資産の回収可能性を見直したことにより法人税等調整額を計上した結果、537,538千円（前期は943,944千円の親会社株主に帰属する当期純損失）と大きく増加しました。

・既存事業の収益力強化

当連結会計年度においては、黒字体質への再転換に向け、アルバイト求人サービス「マッハバイト」、競争入札型転職サービス「転職ドラフト」、転職口コミサイト「転職会議」のさらなる事業成長や、新たなマネタイズポイントの創出に取り組みました。

当連結会計年度においては、上記の主要3事業が全て前期比増収となりました。また、増収に伴い既存事業の利益も伸長しており、事業成長及び収益力の強化が順調に進捗いたしました。

「マッハバイト」においては、各業種における顧客の採用ニーズの回復に合わせて積極的に拡販を行いました。併せて、セールス・マーケティングの連携による高効率な集客を行うことで顧客ニーズを満たし、取引を拡大しました。

「転職ドラフト」は、参加ユーザーが経験やスキルを登録すると企業から年収付きで指名が届く、ITエンジニア向けの転職サービスであります。ITエンジニアの採用ニーズの高さを背景に、参加会員及び参加企業数は前期比で増加基調が続いております。料金体系の改訂も寄与し、大幅に増収となりました。

「転職会議」はサイト改善により閲覧者数が増加したほか、セールスにより大口提携先の予算枠を獲得いたしました。

また、新たなマネタイズポイントの創出として、「転職会議」では口コミを無制限に閲覧できるサブスクリプション商品「口コミパス」の販売を開始し、有料会員数が増加しております。また、不動産情報サービス「IESHIL」では、中古不動産の買取再販事業の検証を行っております。

・新規事業の基盤確立

将来の収益の柱となる新規事業を立ち上げるべく、当連結会計年度においては、成長のための事業基盤の確立に取り組みました。

当連結会計年度においては、提案型マッチングサービス「knew」、面接最適化ツール「batonn」のプロダクト改善および検証が進捗いたしました。顧客獲得には課題を残しております。

「knew」は、持続的に拡大可能な集客モデルの確立を目的とした検証が進捗いたしました。マッチングにおけるアルゴリズムやUXの改善、広告の検証などを行い、有料会員数やマッチング数が増加いたしました。一方、集客モデルの確立にはさらなるプロダクト及びマーケティングの改善が必要な状況であります。

「batonn」は、サービスの有償化と顧客企業の獲得を目的とした検証に取り組みました。文字起こしや採用担当者の負担軽減といった機能面の開発が進捗し、顧客企業の有償利用も開始いたしました。一方、顧客企業の獲得ペースは当初想定を下回っております。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。当連結会計年度における主要メディアの売上高は以下のとおりであります。

<主要メディアの売上高>

| | | |
|----------|-------------|--------------|
| ・マッハバイト： | 2,943,631千円 | （前期比 17.0%増） |
| ・転職会議： | 954,576千円 | （前期比 49.8%増） |
| ・転職ドラフト： | 620,054千円 | （前期比 93.6%増） |

(次期の見通し)

2022年12月期においては、事業成長に加えて不採算事業の撤退や固定費削減等の取り組みにより、黒字転換を実現するとともに、将来の収益の柱となる新規事業の基盤確立に取り組んでまいりました。

2023年12月期においては、2026年12月期をターゲットとした東証プライム市場の上場維持基準への適合と今後の持続的な成長に向け、「既存ビジネスの強化による、持続成長基盤の確立」「現在の事業を基礎にした、新たな収益源の創出」「新たな事業におけるPMF(注)の実現」の3点に取り組んでまいります。

連結売上高及び営業利益においては、主に「マッハバイト」「転職会議」「転職ドラフト」の主要3事業を中心に利用者数の増加や利用者あたり売上高の増加を図り、継続的な事業成長による増収増益を目指してまいります。なお、2022年12月期において税効果会計による一時的な増益影響があった反動から、親会社株主に帰属する当期純利益は減益の見通しであります。

同時に、中長期の持続成長を実現する取り組みとして、既存の資産やプラットフォームを活用した新たな収益源の模索・検証を進め、マネタイズポイントの多様化や安定成長の基盤を構築いたします。

加えて、将来の柱となる事業の創出には年間数億円単位の事業投資を継続いたします。事業検証中の「knew」「batonn」においては、本格投資に向けた早期のPMF実現を目指してまいります。また、引き続き新たな事業の開発・検証にも取り組んでまいります。

なお、2023年12月期の業績見通しに関しては、以下の要素は織り込んでおりません。

- ・ COVID-19の収束もしくは感染再拡大等による大幅な市場環境の変化
- ・ 新たな事業の急成長もしくは大規模投資による売上・利益の大幅な増減

(注) PMF(プロダクトマーケットフィット)：サービスが特定の市場において、顧客から受け入れられている状態

【2023年12月期の連結業績予想】

(単位：百万円)

| 項目 | 2022年12月期 | 2023年12月期 | 前期比 |
|------|-----------|-----------|--------|
| 売上高 | 4,757 | 6,000 | +26.1% |
| 営業損益 | 284 | 350 | +23.2% |

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計年度末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、777,827千円増加し、4,116,849千円となりました。主な内訳は、現金及び預金854,969千円増加、売掛金49,509千円増加及び「その他」の未収入金114,468千円減少等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ183,952千円減少し、351,322千円となりました。主な内訳は、繰延税金資産148,998千円増加及び投資有価証券348,540千円減少等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、396,697千円増加し、1,087,625千円となりました。主な内訳は、賞与引当金62,301千円増加、前受収益193,127千円増加、未払法人税等55,219千円増加及び「その他」の未払消費税等101,668千円増加等によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、60,660千円減少し、23,697千円となりました。主な内訳は、繰延税金負債69,657千円減少及び長期借入金4,900千円増加等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、257,838千円増加し、3,356,849千円となりました。これは、利益剰余金540,404千円増加及びその他有価証券評価差額金282,566千円減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前連結会計年度末より854,969千円増加し、3,560,051千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は、731,034千円(前年同期は361,009千円の支出)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益424,935千円、株式譲渡に伴うライセンス収入の受取額350,000千円及び売上債権の増加49,286千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により得られた資金は128,835千円(前年同期は19,345千円の収入)となりました。

これは主に、敷金及び保証金の回収による収入150,038千円、敷金及び保証金の差入による支出16,488千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により支出した資金は4,900千円(前年同期は15,002千円の収入)となりました。

これは、長期借入れによる収入19,600千円及び長期借入金の返済による支出24,500千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2018年12月期 | 2019年12月期 | 2020年12月期 | 2021年12月期 | 2022年12月期 |
|---------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 自己資本比率 (%) | 85.2 | 79.0 | 86.2 | 80.0 | 75.1 |
| 時価ベースの 自己資本比率 (%) | 160.1 | 135.7 | 159.3 | 126.7 | 171.2 |
| キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (%) | — | 5.7 | — | — | 4.7 |
| インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍) | — | 5,773.3 | — | — | 2,410.0 |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／支払利息

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を計上している全ての負債を対象としております。また、支払利息については、連結損益計算書の支払利息を使用しております。

(注3) 2018年12月期については、有利子負債が存在しないためキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(注4) 2020年12月期、2021年12月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題であると認識しております。しかしながら、現状におきましては、未だ内部留保資金が充実しているとはいえず配当を行っておりません。当社は、未だ成長過程にあることから、内部留保資金を充実させ経営基盤の安定化を図るとともに、事業拡大のための投資等によって一層の企業価値向上を図ることが、株主に対する最大の利益還元につながるかと考えております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年12月31日) | 当連結会計年度 (2022年12月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,705,081 | 3,560,051 |
| 売掛金 | 437,927 | 487,437 |
| 販売用不動産 | — | 25,168 |
| その他 | 196,844 | 44,667 |
| 貸倒引当金 | △831 | △474 |
| 流動資産合計 | 3,339,022 | 4,116,849 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 63,450 | 4,097 |
| 減価償却累計額 | △63,450 | △1,365 |
| 建物(純額) | — | 2,731 |
| 工具、器具及び備品 | 158,510 | 62,811 |
| 減価償却累計額 | △158,510 | △62,811 |
| 工具、器具及び備品(純額) | — | — |
| 有形固定資産合計 | — | 2,731 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産合計 | — | — |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 529,693 | 181,152 |
| 繰延税金資産 | — | 148,998 |
| その他 | 6,546 | 19,298 |
| 貸倒引当金 | △965 | △859 |
| 投資その他の資産合計 | 535,274 | 348,591 |
| 固定資産合計 | 535,274 | 351,322 |
| 資産合計 | 3,874,297 | 4,468,172 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年12月31日) | 当連結会計年度 (2022年12月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 284,176 | 279,539 |
| 未払法人税等 | 4,739 | 59,958 |
| 前受収益 | 205,637 | 398,764 |
| 賞与引当金 | 50,682 | 112,984 |
| その他 | 145,692 | 236,379 |
| 流動負債合計 | 690,928 | 1,087,625 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | — | 4,097 |
| 繰延税金負債 | 69,657 | — |
| 長期借入金 | 14,700 | 19,600 |
| 固定負債合計 | 84,357 | 23,697 |
| 負債合計 | 775,285 | 1,111,322 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 237,219 | 237,219 |
| 資本剰余金 | 225,668 | 225,668 |
| 利益剰余金 | 2,440,545 | 2,980,950 |
| 自己株式 | △206,887 | △206,887 |
| 株主資本合計 | 2,696,546 | 3,236,951 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 402,464 | 119,898 |
| その他の包括利益累計額合計 | 402,464 | 119,898 |
| 純資産合計 | 3,099,011 | 3,356,849 |
| 負債純資産合計 | 3,874,297 | 4,468,172 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 4,179,613 | 4,757,968 |
| 売上原価 | 742,853 | 756,564 |
| 売上総利益 | 3,436,759 | 4,001,403 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,549,144 | 3,717,398 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △1,112,384 | 284,005 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 30 | 27 |
| 株式譲渡に伴うライセンス収入 | 153,216 | 153,216 |
| 補助金収入 | 375 | 1,890 |
| 違約金収入 | 25,558 | 4,945 |
| 投資事業組合運用益 | 2,291 | — |
| その他 | 14,771 | 1,025 |
| 営業外収益合計 | 196,243 | 161,105 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 243 | 303 |
| 投資事業組合運用損 | — | 6,561 |
| 営業外費用合計 | 243 | 6,864 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △916,384 | 438,246 |
| 特別損失 | | |
| 事業構造改善費用 | 33,886 | 13,310 |
| 特別損失合計 | 33,886 | 13,310 |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | △950,271 | 424,935 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,616 | 46,639 |
| 法人税等調整額 | △7,943 | △159,243 |
| 法人税等合計 | △6,327 | △112,603 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △943,944 | 537,538 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △943,944 | 537,538 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △943,944 | 537,538 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 406,853 | △282,566 |
| その他の包括利益合計 | 406,853 | △282,566 |
| 包括利益 | △537,090 | 254,972 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △537,090 | 254,972 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 236,591 | 225,041 | 3,384,490 | △206,887 | 3,639,235 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | — | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 236,591 | 225,041 | 3,384,490 | △206,887 | 3,639,235 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 627 | 627 | | | 1,255 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △943,944 | | △943,944 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 627 | 627 | △943,944 | — | △942,689 |
| 当期末残高 | 237,219 | 225,668 | 2,440,545 | △206,887 | 2,696,546 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|--------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △4,388 | △4,388 | 5,716 | 3,640,563 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | △4,388 | △4,388 | 5,716 | 3,640,563 |
| 当期変動額 | | | | |
| 新株の発行 | | | | 1,255 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | △943,944 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 406,853 | 406,853 | △5,716 | 401,136 |
| 当期変動額合計 | 406,853 | 406,853 | △5,716 | △541,552 |
| 当期末残高 | 402,464 | 402,464 | — | 3,099,011 |

当連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 237,219 | 225,668 | 2,440,545 | △206,887 | 2,696,546 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 2,866 | | 2,866 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 237,219 | 225,668 | 2,443,411 | △206,887 | 2,699,412 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 537,538 | | 537,538 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 537,538 | — | 537,538 |
| 当期末残高 | 237,219 | 225,668 | 2,980,950 | △206,887 | 3,236,951 |

| | その他の包括利益累計額 | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|-------------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | その他の包括利 益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 402,464 | 402,464 | 3,099,011 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 2,866 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 402,464 | 402,464 | 3,101,877 |
| 当期変動額 | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 537,538 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △282,566 | △282,566 | △282,566 |
| 当期変動額合計 | △282,566 | △282,566 | 254,972 |
| 当期末残高 | 119,898 | 119,898 | 3,356,849 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | △950,271 | 424,935 |
| 減価償却費 | — | 1,808 |
| 株式譲渡に伴うライセンス収入 | △153,216 | △153,216 |
| 事業構造改善費用 | 33,886 | 13,310 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △9,321 | 62,301 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △346 | △463 |
| 受取利息 | △30 | △27 |
| 補助金収入 | △375 | △1,890 |
| 違約金収入 | △25,558 | △4,945 |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | △2,291 | 6,561 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △97,651 | △49,286 |
| 販売用不動産の増減額(△は増加) | — | △25,168 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 22,203 | △4,637 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 3,106 | 101,668 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 171,584 | 22,182 |
| その他 | △53,808 | △21,272 |
| 小計 | △1,062,089 | 371,861 |
| 利息の受取額 | 26 | 23 |
| 補助金の受取額 | 1,240 | 1,890 |
| 違約金収入の受取額 | 22,533 | 8,790 |
| 株式譲渡に伴うライセンス収入の受取額 | 300,000 | 350,000 |
| 法人税等の支払額 | △948 | △1,536 |
| 法人税等の還付額 | 378,229 | 4 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △361,009 | 731,034 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資事業組合からの分配による収入 | 12,150 | — |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △3,535 | △16,488 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 35,731 | 150,038 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △25,000 | △4,714 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 19,345 | 128,835 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 株式の発行による収入 | 302 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △24,500 |
| 長期借入れによる収入 | 14,700 | 19,600 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 15,002 | △4,900 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △326,661 | 854,969 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,031,742 | 2,705,081 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,705,081 | 3,560,051 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この変更が連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループはインターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|-------------------------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 113.02円 | 122.42円 |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△) | △34.43円 | 19.60円 |

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|---|---|---|
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △943,944 | 537,538 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △943,944 | 537,538 |
| 普通株式に係る期中平均株式数(株) | 27,417,900 | 27,419,680 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。